

## 大阪都市計画局・令和6年度部局運営方針

大阪都市計画局では、大阪の成長や発展を支える大都市のまちづくりを広域的な視点から府市一体で推進しています。  
令和6年度は、次のテーマについて重点的に取り組みます。

### 重点テーマ：「大阪のまちづくりグランドデザイン」に基づき、多様な主体との連携のもと、大阪全体のまちづくりを推進

#### 〔主な取組〕

##### ■ グランドデザインの推進

- グランドデザイン推進本部会議や市町村まちづくり連携会議等の推進体制のもと、大阪・関西万博開催の機会を最大限活用し、まちづくりの一層の推進を図ります。
- 府民や国内外の民間事業者等のまちづくりへの参画を促すため、まちづくりセミナー等による大阪のまちづくりの戦略的な情報発信により、まちづくりの機運醸成を図ります。
- 市町村等の自律的なまちづくりを支援するため、まちづくりの進め方等を示したまちづくり指針の活用による技術的支援や、鉄道事業者・沿線市町村と連携した鉄道沿線まちづくりに取り組みます。

##### ■ 国際競争力を持った都心部の拠点形成

- うめきた2期地区において、「みどり」と「イノベーション」の融合拠点の実現に向け、2024年9月に先行まちびらきを行い、その魅力を国内外に発信していくとともに、2027年度の全体まちびらきに向け、関係者との連携のもと、まちづくりを推進します。
- 新大阪駅周辺地域において、駅とまちが一体となった世界有数の広域交通ターミナルのまちづくりの実現に向け、官民連携した取組を推進します。
- 大阪城東部地区において、大阪メトロや大阪公立大学、UR都市機構、JR西日本等と連携し、新駅のインパクトを活かした1.5期開発の2028年春のまちびらきや、2期以降のまちづくりに向けた取組を推進します。
- 夢洲地区において、万博開催後の跡地活用を見据えた夢洲第2期のまちづくりに向けた取組を推進します。

##### ■ 府内各地域における拠点形成・まちづくりの推進

- 彩都において、ライフサイエンス関連施設やデータセンターなど経済成長を促す産業集積の機能を組み込み、時代を先導する都市形成を推進します。
- りんくうタウンにおいて、企業誘致や土地分譲を進めるとともに、公民連携によりまちのにぎわいづくりを推進します。
- 千里・泉北ニュータウンなどにおいて、高齢化や都市施設の老朽化等の課題に対し、再生に向けた取組を進め、環境配慮やICTの活用などによる先導的なまちづくりを推進します。
- 市街地再開発事業等による鉄道駅周辺のまちづくりや、幹線道路沿道における産業立地の誘導など計画的なまちづくりを推進します。

##### ■ 広域連携によるまちづくり

- 関西各地のサイクルートを連携させ、関西の豊かな自然や世界遺産などの歴史・文化資源等を活用し、自転車を活用した広域連携によるまちづくりの取組を推進します。
- 淀川大堰閘門の着実な整備の促進とともに、公民連携により淀川沿川の地域資源を高め、つなぐことにより、流域全体の魅力あふれるまちづくりの取組を推進します。
- 生駒山系の豊かなみどりや自然空間などを活用した広域連携によるまちづくりの取組を推進します。
- 夢洲における万博・IRのインパクトや泉州地域沿岸部の様々な地域資源を活用し、ベイエリア全体の活性化に向けた取組を推進します。

##### ■ 都市計画制度等を活用したまちづくり

- 都市計画制度的確な運用により、大阪の成長・発展を支えるまちづくりを推進します。
- 都市計画情報の電子化等を行うとともに、オープンデータとして幅広い分野での利活用を図ります。
- 府市ノウハウを活用するなど、市町村を広域的な観点から支援するとともに、大阪市内については「ワンストップ窓口」を活用し、民間事業者の負担軽減や利便性向上を図ります。